



《くるみん認定企業紹介》

社会福祉法人あすなろ会

次世代育成支援対策推進法に基づく『くるみん』及び
女性活躍推進法に基づく『えるぼし』のダブル認定！！



所在地：出雲市白枝町396-2
代表者：理事長 竹内 一夫
業種：医療、福祉
創業：1971年（昭和46年）4月
労働者数：191人（女性162人）
HP：<https://www.asunaro-izumo.or.jp/>
認定回数：くるみん認定（1回目）
認定段階：えるぼし認定2つ星（2段階目）

女性の育児休業等取得率
100%(14名)

男性の育児休業等取得率
100%(1名)

子ども参観日の実施

▶くるみん認定に向けた取組のきっかけ・経緯など

当法人は、保育事業・放課後児童健全育成事業及び介護事業等を通じて地域福祉の向上に取り組む中で、利用者支援の質を高めるためには、職員一人ひとりが安心して長く働き続けられる職場環境づくりが重要であると考えました。特に、子育て世代の職員が多く、仕事と家庭の両立支援の充実が、人材定着やサービス品質向上につながることから、育児休業取得の推進や法人独自の10種類の多様な特別有給休暇の整備等、働きやすい職場環境整備に継続的に取り組んでまいりました。こうした取組をさらに推進し、職員がライフステージの変化に応じて安心して働ける法人を目指すとともに、地域から信頼される法人であり続けるため、取得に向けた取組を進めました。

▶子育て支援に関する取組方針や取組、工夫したこと、苦労したこと

当法人では、職員が安心して子育てと仕事を両立できる環境づくりを重要な経営課題と位置付け、柔軟な働き方の整備に取り組んできました。具体的には、育児休業制度等をはじめとする様々な取り組み等の周知を行うとともに、管理職に対して制度利用への理解促進を図り、復職時には本人の希望を踏まえた勤務調整を行っています。

また、時間外労働の削減や有給休暇取得促進にも取り組み、子育て世代に限らず、全職員が働きやすい職場環境整備を進めています。保育・介護事業はシフト勤務が多く、職員配置の調整が課題となる場面もありましたが、特定の職員に負担が偏らないよう、業務の見直しや多職種間での協力体制づくりを進めてきました。制度を整備するだけでなく、「お互いに支え合う風土づくり」を大切にしながら取り組んでいます。

▶取組の成果・効果等

当法人では、育児と仕事の両立支援を継続的に進めた結果、育児休業後の高い復職率の維持や職員定着につながっています。また、職員同士が互いに支え合う風土づくりを進めたことで、育児中の職員に対する理解も深まり、安心して働き続けられる環境づくりにつながりました。採用活動においても、「子育てをしながら安心して働ける法人」というイメージ向上につながり、求職者からの関心や応募増加にも一定の効果が見られていると実感します。

さらに、職員間で協力し合う意識が高まり、業務改善や働き方の見直しにつながる等、組織全体として働きやすい職場環境づくりが進んでいます。

▶今後に向けて

今後も、職員一人ひとりがライフステージの変化に応じて安心して働き続けられる職場環境づくりを推進し、働きやすさと働きがいの向上を目指してまいります。

また、保育・介護サービスを安定的に提供するためにも、人材定着や職員満足度向上につながる取組を継続し、地域から信頼される法人を目指してまいります。

